

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

〔2025年度〕



足利小山信用金庫

【当金庫の経営理念】

【基本理念】

地域金融の円滑化と利便性の向上に努めることにより、
中小企業の健全な発展、地域住民の生活向上および地域
社会の繁栄に貢献してまいります。



【基本姿勢】

1. お客さま本位の経営

お客さまにご満足いただける質の高い金融サービスを提供し、真にお役に立つ地域金融機関となります。

2. 健全かつ透明性の高い経営

健全経営に徹するとともに、適切な情報開示に努め、信頼され、親しまれる地域金融機関となります。

3. 活力ある経営

チャレンジ精神に溢れ、自由闊達な企業文化を創造し、働きがいのある地域金融機関となります。

【お客さま本位の業務運営について】

足利小山信用金庫は



お客さまの最善の利益を図るため、
コンサルティング機能を発揮し、お客さまの意向
やライフステージ等に応じた最良・最適な金融商
品・サービスを提供しております。

お客さまから信頼され、選ばれる信用金庫となることこそが、自らの持続可能な成長につながるものと認識し、お客さま本位の良質なサービスの提供に努めております。

高度な専門性と職業倫理を保持し、お客さまに対して誠実・公正に業務を行うよう、研修・教育体制の充実や各種資格の取得支援を行い、企業文化として定着化を図っております。

役職員は「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき、お客さまへの対応において、誠実・公正に業務を行うことを基本とし、お客さまのニーズを把握して、最善の利益を図れるよう心掛けて業務にあたっております。

【取組方針の策定】

2018年3月28日、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、地域住民の生活向上および地域社会の繁栄への貢献を経営理念に掲げ、お客さまの資産形成・資産運用に資する「お客さま本位の業務運営」の定着を図ることとしております。

【取組姿勢】

役職員は、お客さまの良きパートナーで有り続けるよう取組方針に基づき行動しております。また、お客さまの資産形成に寄与するために最適な商品・サービスをご提案できるよう努めております。

【取組状況の公表等】

取組方針に基づき実施した取組状況は、定期的に公表しております。

当金庫は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」に基づき、取組方針を策定しております。取組状況については、毎年度、当金庫のホームページに掲載することにより公表しております。

2. お客様の最善の利益の追求

取組方針2－（1）

【新たな投資信託商品の提供】

お客様の意向やライフステージ等に応じた最良・最適な金融商品・サービスをご提案するために、商品カテゴリ毎に投資信託商品のラインナップを見直す等、新たな投資信託商品を提供しております。

2025年に取扱いを開始した商品

商品カテゴリ	商 品 名	運用会社	取扱開始日
国内株式型	GS 日本フォーカス・グロース（年2回決算）	ゴールドマン・サックス・アセットマネジメント	2025年4月1日
	ニッセイ日本勝ち組ファンド（3か月決算型）	ニッセイアセットマネジメント	

投資信託商品のラインナップの推移

(2019年度)			(2025年度)		
商品カテゴリ	取扱商品数	構成比	商品カテゴリ	取扱商品数	構成比
国内	11	32.4	国内	21	35.6
株式	6		株式	16	
債券	2		債券	2	
不動産	3		不動産	3	
国内外	8	23.5	国内外	14	23.7
株式	5		株式	10	
債券	1		債券	1	
不動産	2		不動産	3	
海外	11	32.4	海外	13	22.0
株式	5		株式	8	
債券	4		債券	4	
不動産	2		不動産	1	
バランス	4	11.8	バランス	9	15.3
			その他	2	3.4
合 計	34		合 計	59	

営業店の担当者に対しアンケート調査を実施し、お客様のニーズを把握することにより新たな商品を提供しております。当金庫が取扱っている投資信託商品については、2019年度に比べると25種類増加しております。

2. お客様の最善の利益の追求

取組方針2－(2)

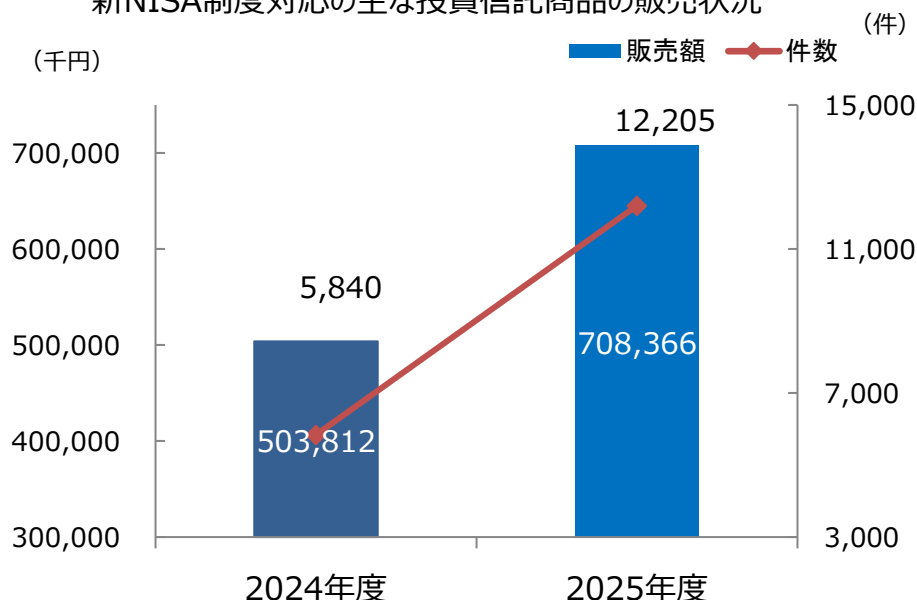
【新NISA制度への対応】

お客様の資産形成や資産運用に関する関心が高いことから、2024年1月の制度開始以降、新NISAに対応した新たな商品を提供しております。販売状況については順調に推移しております。

新NISA制度対応の主な投資信託商品

商 品 名	運用会社	取扱開始日
成長投資枠		
海外消費投資関連日本株ファンド	アセットマネジメントOne	2023年10月2日
ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド	ニッセイアセットマネジメント	
東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド	東京海上アセットマネジメント	
のむらっ・ファンド（積極型・普通型）	野村アセットマネジメント	2024年6月3日
ジャパン半導体株式ファンド	アモーヴァアセットマネジメント	2024年11月1日
グローバル・ハイクオリティ成長株ファンド（限定為替ヘッジ）	アセットマネジメントOne	
GS 日本フォーカス・グロース（年2回決算）	ゴールドマン・サックス・アセットマネジメント	2025年4月1日
ニッセイ日本勝ち組ファンド（3か月決算型）	ニッセイアセットマネジメント	
つみたて投資枠		
iFree 日経225インデックス	大和アセットマネジメント	2024年1月4日
iFree 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	大和アセットマネジメント	
年金積立 Jグロース	日興アセットマネジメント	
のむらっ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	2024年6月3日
たわらノーロードS&P500	アセットマネジメントOne	2024年11月1日

新NISA制度対応の主な投資信託商品の販売状況



新NISA制度への対応として、営業店担当者に対して制度や新たな投資信託商品に関する研修を実施しております。成長投資枠あるいはつみたて投資枠に対応した商品提供を行っており、販売状況は順調に推移しております。

【利益相反事案への対応】

お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反の可能性のある取引については、営業部門から独立した管理部署において適切に管理しております。

お客さまのニーズや意向を踏まえた金融商品やサービスの提案に努めており、手数料の多寡による特定の金融商品の推奨は行っておりません。

利益相反管理方針（抜粋）

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規程等に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理（以下「利益相反管理」といいます。）し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

1. 当金庫は、お客さまの間で行う取引を対象として利益相反管理を行います。
2. 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
 - ・当金庫が契約等に基づく関係を有するお客さまと行う取引
 - ・当金庫が契約等に基づく関係を有するお客さまと対立または競合する相手と行う取引
3. 当金庫は、利益相反管理に対象となる取引について、次に掲げる方法を選択し、また、これらを組み合わせることにより管理します。
（省略）
4. 当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規程等を遵守するため、役員等を対象に教育・研修等を行います。
5. 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性および有効性について定期的に検証します。

以 上

「利益相反管理方針」については、当金庫のホームページに掲載しております。
利益相反の可能性のある案件については、顧問弁護士に相談して対応しております。

4. 手数料等の明確化

取組方針4

【手数料等の説明（情報提供）】

お客さまにご負担いただく手数料やその他の費用については、分かりやすく丁寧にご説明させていただいております。

投資信託商品をご提案する際には、パンフレットや目論見書等の説明資料を用いて、お客さまにご理解いただけるような情報の提供を行っております。

ファンドブック（投資信託ラインナップ）

投資信託にかかる費用

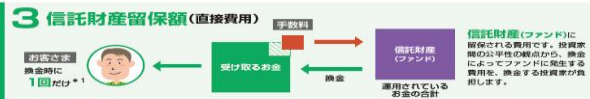
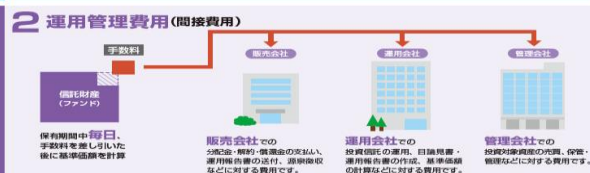
投資信託には購入時のお申込手数料のほかに、信託財産から間接的にご負担いただく運用管理費用（信託報酬）や利益に対する税金など、さまざまな費用がかかります。

▶ 投資信託の主な費用

投資信託には、大きく3つの費用が発生します。



▶ 費用の種類



*1 ファンドによって、お申込手数料や信託財産留保額のかからないものがあります。
○手数料および運用管理費用には消費税等相当額が別途かかります。
○上記以外にも費用がかかる場合がございます。手数料その他費用の詳細は、投資信託説明書(交付目録見書)等をよくご覧ください。

2

手数料等の詳細については、目論見書、当金庫のホームページあるいはパンフレットにおいてご確認いただけます。
お客さまにとって分かりやすいパンフレットやホームページとなるよう、適宜見直しを行っております。

5. 重要な情報の分かりやすい提供

取組方針5－（１）・（２）

【商品のご提案】

お客さまのライフステージやライフイベントごとに発生する課題等を解決するため、担当者はお客さまのニーズに合った商品をご提案するなど、お客さまに寄り添った相談を行っております。

新たなNISA制度や市場環境の変化に伴い、資産運用に関する相談が増加していることから、商品を提案する際には、分かりやすいパンフレットを用いて、丁寧な説明を心掛けております。

ファンドブック（投資信託ラインナップ）

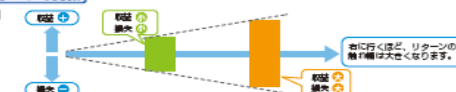
投資信託の「リスク」の考え方

リスクを「損すること」だと思いませんか？

投資信託のリスクとは、投資信託の「リターン」の振れ幅のことを言い、「リスク＝損をする」という意味ではありません。投資信託が投資対象とするのは基本的に元本保証がなく、価格変動をともなう資産です。投資対象資産は、価格が上昇することあれば、価格が下落することもあるため、投資信託には常に「収益」と「損失」の両方の可能性があります。

リスクとリターンの関係

【イメージ図】

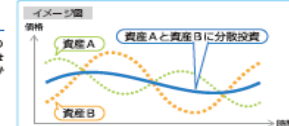


「リスク」を軽減するためには？

ポイント1

資産分散でリスクを抑える

● ひとつの資産（商品）に集中して投資するよりも、複数の異なる種類の資産を組み合わせて投資する方が、資産全体の価格変動が緩やかになる効果が期待できます。

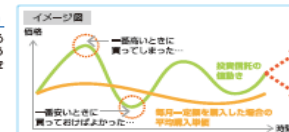


ポイント2

時間分散でタイミングを逃さない

● タイミングをすらすらしながら定期的に購入することにより、高値で一気に購入してしまうリスクを減らし、安値で購入するチャンスを見逃しにくくなります。

※ 実際的には5ページをご参照ください。

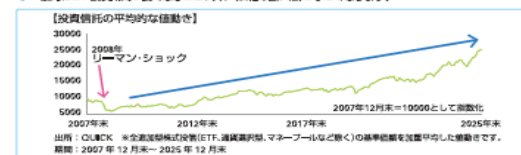


ポイント3

中長期保有のメリット

● 相場は、短期間でみると一時的な要因により大きく変動することがありますが、長期投資にすればするほど、短期的な相場の変動に左右されにくくなる傾向があります。

● 一般的には、投資期間が長くなるほどリスク（価格の振れ幅）が小さくなります。



投資信託等の新商品を販売する際には、運用会社の担当者による営業店担当者向けのセミナーを受講しております。運用会社の担当者から説明を受けることにより商品内容等を把握することで、お客さまに分かりやすい説明を行うよう努めております。

5. 重要な情報の分かりやすい提供

取組方針5－（3）・（4）・（5）

【説明資料の充実等】

お客さまの金融知識、取引の経験を考慮のうえ、投資経験の少ないお客さまにご理解いただけるように、投資信託を初歩から理解できるファンドブックを作成しております。

複数の金融商品をパッケージとして販売する場合には、組み入れている商品を個別に購入することはできないことをお客さまに説明し、ご理解をいただいております。

ファンドブック（投資信託ラインナップ）

投資信託のしくみ

「投資信託」を利用すれば、世界中の資産へ「分散投資」ができます。
投資信託は、多くの投資家から集めた資金を1つにまとめ、大きな資金にして専門家が運用する金融商品です。
投資信託の運用は委託会社が、販売は金融機関（販売会社）が、資産の管理は信託銀行がそれぞれ行い、3つの会社の業務は分離・独立しています。



投資信託の特徴

- 1 小口投資** 投資信託は1万円*からお申し込みできます。まとまった資金がなくても株式や債券による資産運用が始められます。
※積立投資信託は5,000円以上、1,000円単位です。
- 2 分散投資** 債券や株式などに分散して投資します。投資の基本は、資産をいくつかの商品に分けてリスクを分散させることです。
- 3 専門家が運用** お客さまから集めた資金をまとめて、専門家が運用します。
- 4 世界中が投資対象** 個人では難しい世界のマーケットにも少額から投資できます。
- 5 分別管理** 投資信託の運用資産はすべて信託銀行で分別して保管・管理されています。万が一、販売会社（金融機関）、運用会社（投資信託委託会社等）、管理会社（信託銀行等）が破綻してもお客さまの資産は保全されます。

預金と投資信託の違い

	預金	投資信託
元本の保証	元本が保証されています。	元本は保証されていません。
利息・収益分配金	あらかじめ決められた利率に基づく利息を受け取れます。	ファンドの運用により受け取れる収益分配金が異なります。 ※収益分配金が0円ない場合もあります。
預金保険制度の適用	対象となります。 ※利率となる預金などのうち、特定預金に該当するものは預金保険の対象となり、そのほかの預金については1金融機関ごとに預金者1人あたり預金1,000万円までとこの範囲内に限られます。	対象となりません。 ※当会が販売する投資信託は、投資信託の預金制度の対象外です。

ご契約をいただいたお客さまには、契約後においても継続的にフォローアップを行っており、保有商品の状況や市場動向等に関する情報提供を行っております。

5. 重要な情報の分かりやすい提供

取組方針5－(6)

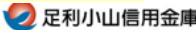
【重要情報シートの活用】

お客さまが商品選択をする際の重要な情報として、お客さまの理解が深まるために「重要情報シート」を導入しております。

「重要情報シート」には、リターン・リスクや手数料等の費用などが記載されており、同資料を活用して、お客さまに投資信託商品の重要情報を分かりやすく説明し、ご理解いただけるよう努めております。

「重要情報シート」については、2022年度より導入しております。投信インターネットサービスからの購入件数が50%を超えており、HPに掲載している「重要情報シート」がお客さまへの説明資料として活用されております。

(重要情報シート)

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る。 足利小山信用金庫

重要情報シート（個別商品編）

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド
組成会社（運用会社）	三井住友 DS アセットマネジメント株式会社
販売委託元	三井住友 DS アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・特徴	トヨタ自動車株式会社およびそのグループ会社の株式に投資し、信託財産の成長を目的として運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験を有する、あるいは説明を受け商品内容を理解していただける、中長期での資産形成を目的とする投資家のご投資を想定しております。この商品は、元本割れリスクを伴う投資商品向けです。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

※ 投資のリスクは、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。
※ 本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。
※ 本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。

2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	運用資産の市場価格の変動による影響を受け、投資先などの破綻や債務不履行の発生による影響を受け、損失が生じるリスクがあります。
【参考】過去1年間の収益率	34.5%（2025年11月末現在）
【参考】過去5年間の収益率	“平均 19.8% 最低 -26.4%（2025年3月） 最高 84.9%（2024年3月） （2020年12月～2025年11月の各月末における直近1年間の数値）”

※ 上記内容の詳細は、本商品の説明書に記載しています。

※ 投資のリスクは、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。
※ 本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	購入金額に以下の手数料率を乗じた額とします。 窓口 1.65% ネット 1.32%
継続的に支払う費用（信託報酬など）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 0.759%（税込）
運用成績に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用は、本商品の説明書に記載しています。

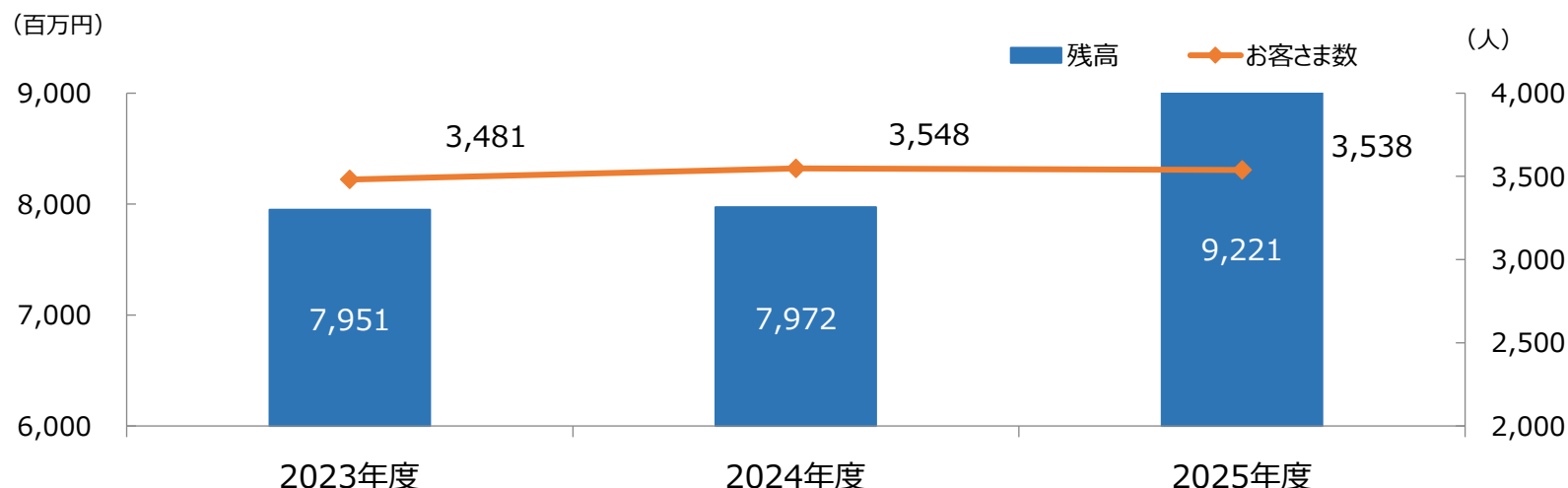
※ 投資のリスクは、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。
※ 本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。

6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6－（１）・（２）・（３）

【投資信託商品の残高・お客さま数の推移】

お客さまの資産状況、取引経験、知識、投資目的などを確認した上で、お客さまにふさわしい金融商品・サービスを提案した結果、投資信託商品の残高については増加傾向にあります。



お客さま数については、おおむね前年と同水準で推移しております。

複数の金融商品を組み合わせた商品（パッケージ商品）を販売する際には、お客さまに商品内容を丁寧に説明することに留意してご提案いたします。

6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6－（１）・（２）・（３）

【投資信託商品の販売額上位５商品】

過去３ケ年における投資信託商品の販売額上位５商品は以下のとおりです。

順位	2023年度				2024年度				2025年度			
	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万円)	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万円)	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万円)
1	ダイワ・インド株ファンド	年4回決算型	海外株式	316	グローバル・ロボティクス 株式ファンド（年2回）	年2回決算型	内外株式	379	ゴールド・ファンド （為替ヘッジなし）	年1回決算型	内外その他	325
2	グローバル・ロボティクス 株式ファンド（年2回）	年2回決算型	内外株式	309	トヨタ自動車/ トヨタグループ株式ファンド	年1回決算型	国内株式	319	ジャパン半導体 株式ファンド	年1回決算型	国内株式	214
3	トヨタ自動車/ トヨタグループ株式ファンド	年1回決算型	国内株式	277	しんきん全世界株式 インデックスファンド	年1回決算型	内外株式	283	グローバル・ロボティクス 株式ファンド（年2回）	年2回決算型	内外株式	165
4	しんきん全世界株式 インデックスファンド	年1回決算型	内外株式	263	ダイワ・インド株ファンド	年4回決算型	海外株式	231	しんきん全世界株式 インデックスファンド	年1回決算型	内外株式	113
5	新光US-REITオープン	毎月決算型	海外リート	256	しんきんJリートオープン	毎月決算型	国内リート	165	AI（人工知能）活用型 世界株ファンド	年1回決算型	海外株式	107

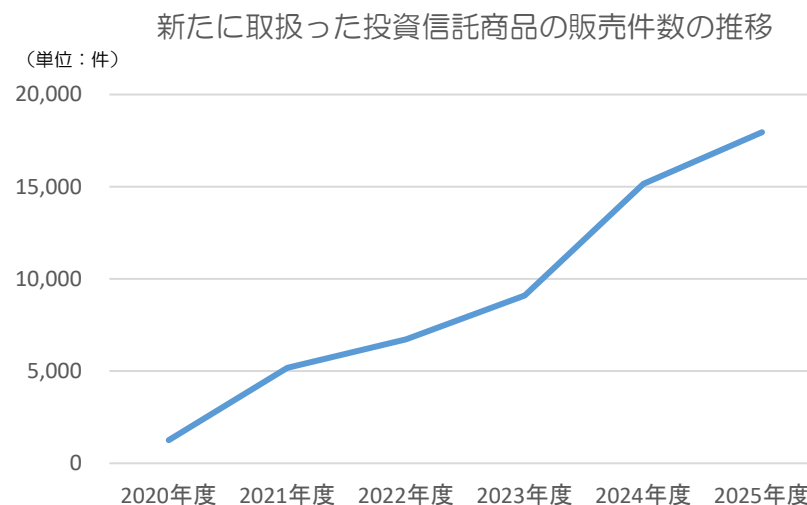
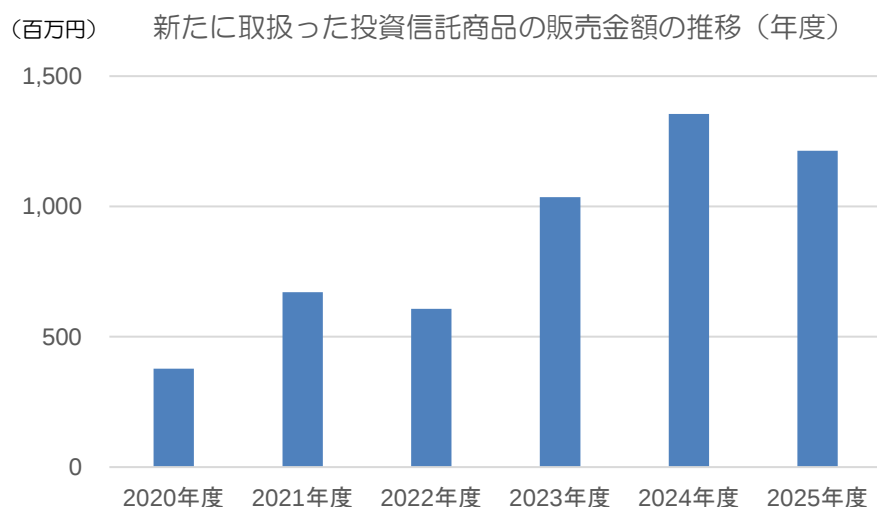
お客様にふさわしい投資信託商品のご提案をしており、特定の商品に偏った商品選定や販売は行っておりません。
お客様の取引経験や取引目的をお伺いして、お客様のニーズを踏まえた投資信託商品のご提案をしております。

6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6ー（4）

【新たに取組んだ投資信託商品について】

2020年度以降、お客様のニーズを踏まえて新たに投資信託商品を提供しておりますが、販売実績は順調に推移しております。



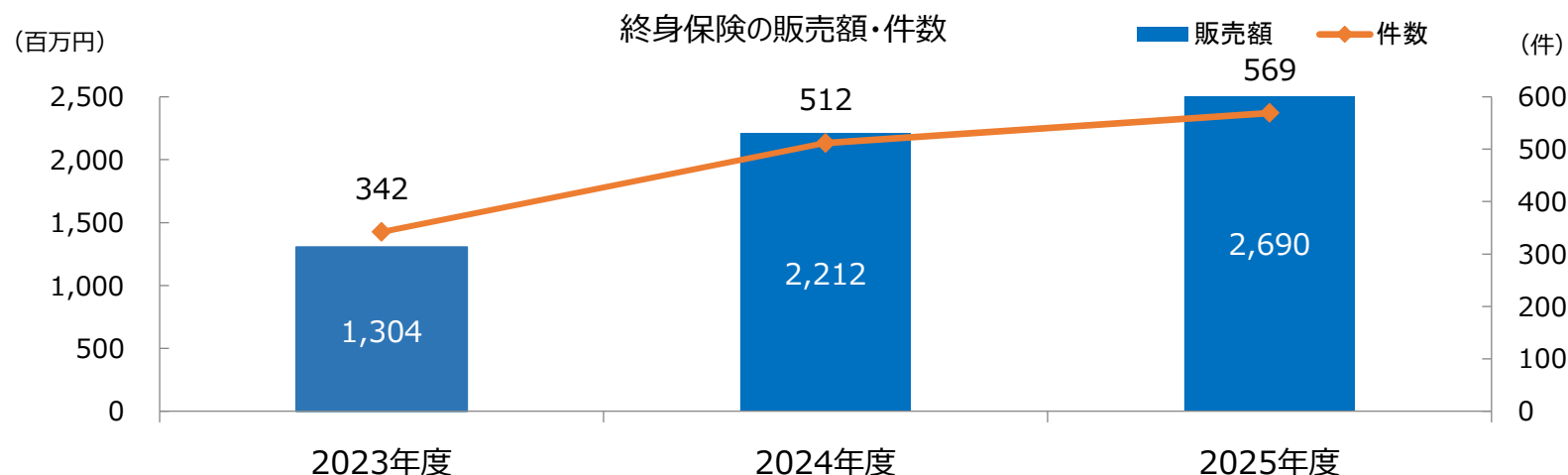
お客様の幅広いニーズにあった投資信託商品をご提案するために、2020年度以降、投資信託商品のラインナップを強化する取組みを行っております。

6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6－(4)

【終身保険の販売額・件数の推移】

2025年度においては販売額および件数とも増加しており、順調に推移しております。



お客様のライフプランを踏まえた上で、お客様のご意向に沿った保険商品のご提案を行っております。

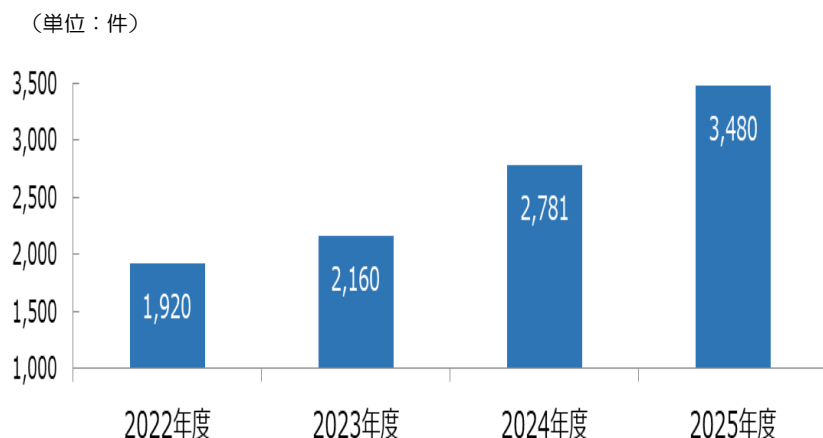
6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6—（5）

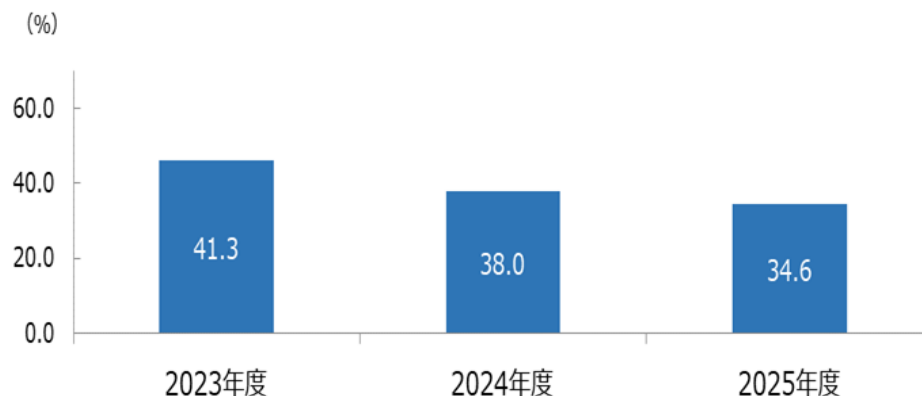
【積立投資信託の取扱件数と毎月分配型商品の構成比率】

お客様の中期にわたる資産形成に資するため、少額から無理なく購入でき分散投資も可能な「積立投信」の販売に力を入れております。また、毎月分配型商品の販売額割合については、減少傾向にあります。

（積立投資信託の取扱件数）



（毎月分配型商品の構成比率）



お客様のご意向を確認した上で、長期資産形成に役立つ「積立投信」による資産運用をご提案しております。引き続き、異なる内容の商品をバランスよく取り揃えることにより、長期資産形成や分散投資のご提案を行います。

6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6－（5）

【高齢者取引のルールの設定】

高齢のお客様に対して、慎重な販売を行うために「高齢顧客に対する勧誘・販売マニュアル」を定めております。

当金庫で取扱っている金融商品を「勧誘可能商品」と「勧誘留意商品」に分類し、80歳以上のお客様に「勧誘留意商品」を販売する場合には、受注を勧誘の翌日以降とするとともに、契約後には担当者以外の者が取引内容をチェックしております。

高齢のお客様に対し、適切に取引が行われているかモニタリングを実施するとともに、75歳以上のお客様を対象に定期的にアフターフォローを実施しております。

ご高齢のお客様に商品提案を行う際には、ご家族への相談やご同席をお勧めするなど、ご家族のご理解をいただいた上での販売に努めております。

6. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針6－（6）・（7）・（8）

【運用会社との連携】

新たな投資信託商品を販売する際には、運用会社（金融商品を組成する会社）から講師を迎え、商品内容等に関する販売担当者向けの研修をZOOM等を活用して実施するとともに、マーケット状況に関する研修についても実施しております。

運用会社とは、当金庫の担当者がお客様に商品を提案した際に把握したお客様のニーズ等の情報について、情報共有を図る機会を設けております。

運用会社との情報共有等を図る機会
（2025年度）

（１）情報共有の機会	16回
（２）職員向け研修の実施	8回

運用会社との間で情報共有する機会を設けることにより、お客様のニーズを踏まえた商品提案が行えるよう努めていくこととしております。

7. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

取組方針7－（１）・（２）

【職員のスキルアップを図る取組み】

お客さまの多様なニーズに応じるために、職員に対してファイナンシャル・プランナー（ＦＰ）資格取得を推奨しております。

ファイナンシャルプランナー（ＦＰ）資格取得率の推移

	2023年度	2024年度	2025年度
取得率	43.8%	43.7%	43.6%

お客さまにふさわしい金融商品やサービスを提供するために、預かり資産に関する研修や提案能力の向上を図るための研修を実施しております。

預かり資産に関する研修の実施

	2023年度	2024年度	2025年度
研修回数	5	6	5
参加者数	47	78	62

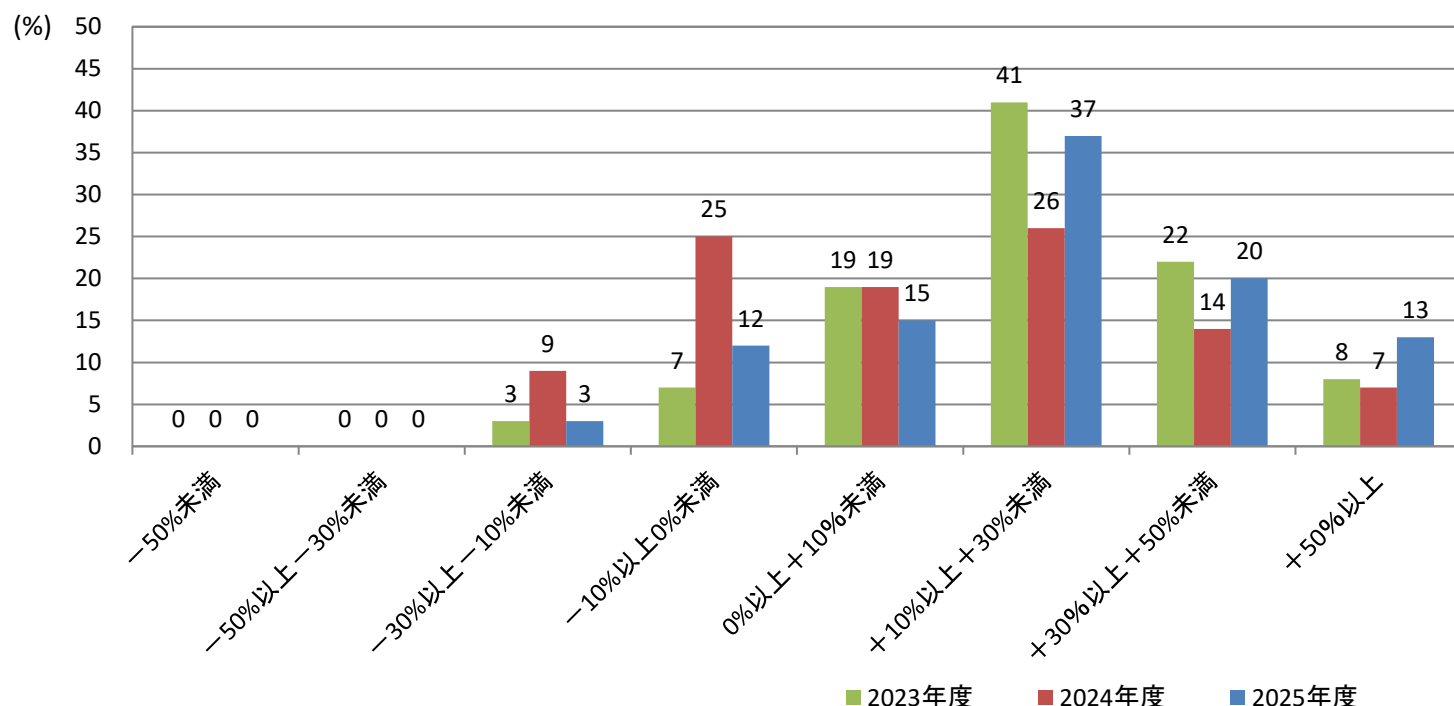
お客さまへの取組みが適切に評価されるよう、業績評価体系についても定期的に見直しを実施しております。

お客さまへの質の高い金融サービスを提供するために、職員のコンサルティング能力の向上に努めております。手数料収入のみに偏った業績評価の設定を行っておらず、お客さまへの資産形成促進を図ることを目的として、預かり資産の増加や積立投信への取組みを重要な指標として捉えております。

8. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

(1) 投資信託の運用損益別顧客比率

2026年3月末時点での投資信託商品を保有されている個人のお客さまの運用損益については、85.0%のお客さまがプラス（0%以上）となりました。



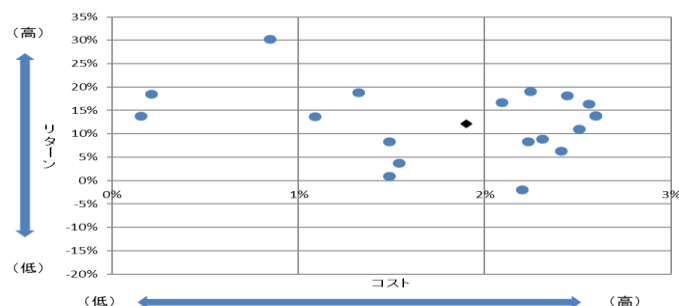
(注1) 運用損益：基準日時点の「評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計買付金額（含む消費税込みの販売手数料）」で算出しています。

(注2) 運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出しています。

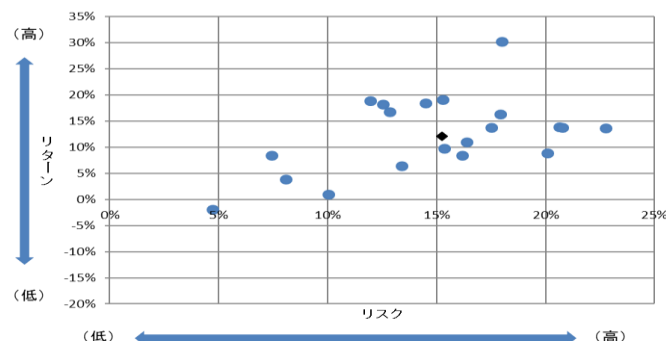
8. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

(2) 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

2026年3月末時点での投資信託の預かり残高上位20銘柄の平均コストは1.90%、平均リスクは15.25%となりました。一方、平均リターンは12.10%となりました。



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.90%	12.10%



残高加重平均値	リスク	リターン
	15.25%	12.10%

2026年3月

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.63%	13.91%
2	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	10.02%	0.96%
3	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	7.43%	8.36%
4	新光 US-REIT オープン	2.23%	16.16%	8.36%
5	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.75%	13.66%
6	ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)	0.85%	18.00%	30.25%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	20.76%	13.79%
8	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.24%	15.28%	19.08%
9	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	15.34%	9.70%
10	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	16.36%	11.01%
11	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	11.97%	18.89%
12	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	12.86%	16.75%
13	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31%	20.08%	8.86%
14	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	12.55%	18.20%
15	iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	14.50%	18.48%
16	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.56%	17.93%	16.36%
17	投資のソムリエ	2.20%	4.73%	-1.98%
18	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	13.41%	6.37%
19	One高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	8.07%	3.81%
20	iFree 日経225インデックス	0.15%	17.50%	13.79%

残高加重平均値	1.90%	15.25%	12.10%
---------	-------	--------	--------

(注1) 購入時手数料率(消費税込み)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

(注2) 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

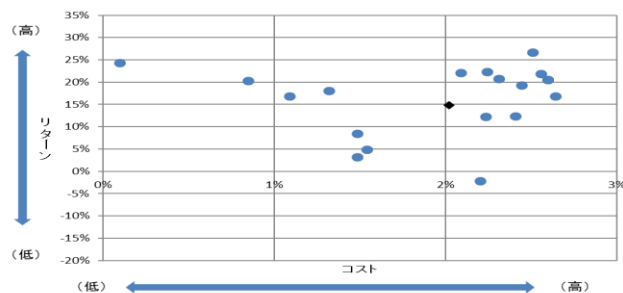
(注3) 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

(注4) 上記は、将来における当金庫が取扱う投資信託のリターン、リスクを示唆するものではありません。

8. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

(2) 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

2025年3月末時点での投資信託の預かり残高上位20銘柄の平均コストは2.02%、平均リスクは15.02%となりました。一方、平均リターンは14.82%となりました。



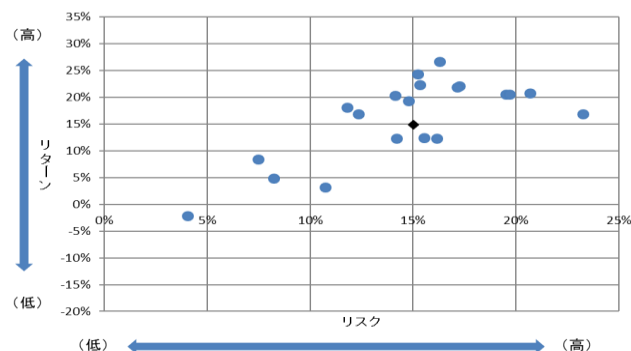
残高加重平均値

コスト

リターン

2.02%

14.82%



残高加重平均値

リスク

リターン

15.02%

14.82%

2025年3月

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	しんきんリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.90%	3.21%
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.90%	20.57%
3	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.24%	8.44%
4	新光 US-REIT オープン	2.23%	18.42%	12.28%
5	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.80%	16.89%
6	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	22.13%	26.64%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.01%	20.51%
8	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	12.31%
9	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.24%	16.66%	22.27%
10	グローバル・ハイテクリテ成株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31%	20.36%	20.76%
11	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	21.59%	22.12%
12	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	14.72%	18.10%
13	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.56%	18.78%	21.85%
14	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	19.03%	19.32%
15	投資のソムリエ	2.20%	3.95%	-2.16%
16	ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)	0.85%	12.36%	20.30%
17	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	21.00%	12.39%
18	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.12%	16.87%
19	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	8.31%	4.84%
20	＜購入・換金手数料なし＞ニッセイ外国株式インデックスファンド	0.10%	17.18%	24.30%

残高加重平均値

2.02%

15.02%

14.82%

(注1) 購入時手数料率(消費税込み)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

(注2) 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

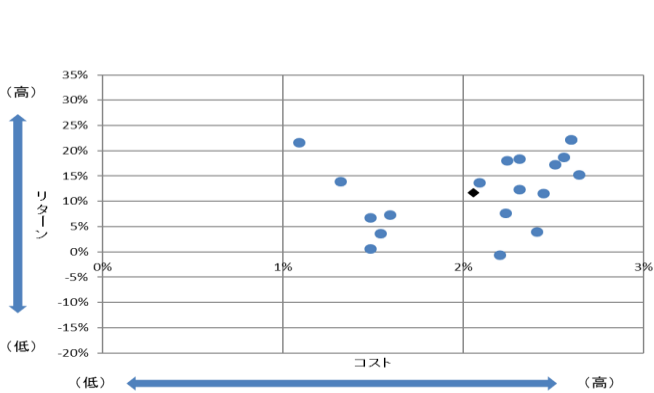
(注3) 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

(注4) 上記は、将来における当金庫が取扱う投資信託のリターン、リスクを示唆するものではありません。

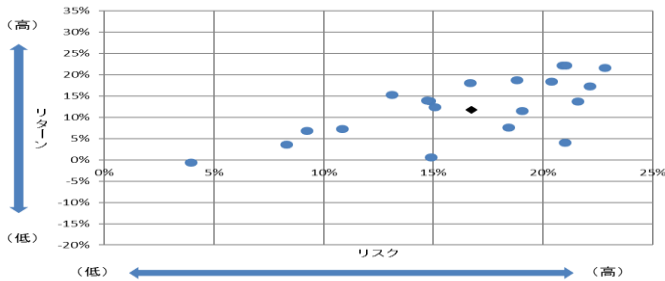
8. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

(2) 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

2024年3月末時点での投資信託の預かり残高上位20銘柄の平均コストは2.06%、平均リスクは16.75%となりました。一方、平均リターンは11.72%となりました。



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.06%	11.72%



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.75%	11.72%

2024年3月				
順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	しんきんリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.90%	0.65%
2	新光 US-REIT オープン	2.23%	18.42%	7.66%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.90%	22.18%
4	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.24%	6.82%
5	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
6	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.80%	21.66%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.01%	22.19%
8	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	22.13%	17.34%
9	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.24%	16.66%	18.13%
10	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31%	20.36%	18.45%
11	投資のソムリエ	2.20%	3.95%	-0.57%
12	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	21.59%	13.74%
13	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	14.72%	13.95%
14	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	19.03%	11.54%
15	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	21.00%	4.04%
16	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	8.31%	3.64%
17	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.56%	18.78%	18.75%
18	損保ジャパン・グリーン・オープン	2.31%	15.05%	12.37%
19	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.12%	15.28%
20	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.84%	7.30%

残高加重平均値	2.06%	16.75%	11.72%
---------	-------	--------	--------

(注1) 購入時手数料率(消費税込み)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値
(注2) 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
(注3) 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
(注4) 上記は、将来における当金庫が取扱う投資信託のリターン、リスクを示唆するものではありません。